



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アスモ

コード番号 2654 URL <http://www.asmo1.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長井 尊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室室長

(氏名) 岡田 秀樹

TEL 06-6683-3101

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	6,909	54.0	1,062	182.7	1,050	187.7	836	174.0
25年3月期第2四半期	4,486	19.1	375	6.0	364	10.1	305	△5.6

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 880百万円 (181.0%) 25年3月期第2四半期 313百万円 (0.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	5.97	—
25年3月期第2四半期	2.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	4,647	3,184	63.7	21.11
25年3月期	4,087	2,304	51.8	15.09

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,959百万円 25年3月期 2,115百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,375	35.5	1,858	128.3	1,869	127.6	1,494	94.5	10.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	151,451,750 株	25年3月期	151,451,750 株
② 期末自己株式数	11,242,601 株	25年3月期	11,242,601 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	140,209,149 株	25年3月期2Q	140,209,149 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や日本銀行による金融緩和などの効果により、円高の是正や株式市場が活況となり、企業収益や個人消費に改善の動きが見られるなど、緩やかな回復基調となりました。

しかしながら、欧州債務問題や新興国経済の成長鈍化など世界経済の下振れ懸念もあり、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような状況の下、当社グループは、平成25年4月1日付でそれぞれの事業分野における迅速・的確な対応、事業分野に適応した人材の育成・教育・採用、事業分野に特化した判断による業務の効率化、経営責任の明確化、将来を担う経営者の育成を目的として、卸売事業を営む㈱アスモレーディング、給食事業を営む㈱アスモフードサービスを新設分割の方法により設立いたしました。

今後、当社は持株会社として経営戦略業務に特化し、各子会社は前述新設分割の目的を達成することで事業規模の拡大と経営基盤の強化をはかり、グループ全体の企業価値の向上に努めてまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高6,909百万円（前年同四半期比 54.0%増）、営業利益1,062百万円（前年同四半期比 182.7%増）、経常利益1,050百万円（前年同四半期比 187.7%増）となり、当第2四半期連結累計期間における四半期純利益は、836百万円（前年同四半期比 174.0%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、当社グループは、平成25年4月1日付の会社分割に伴って、第1四半期連結会計期間より経営管理区分の見直しを行い、以下のようにセグメントを変更しております。また、前年同四半期情報に関しましては、売上高、売上原価と販売費及び一般管理費の金額を遡って正確に抽出することが実務上困難なため、開示を行っておりません。

セグメント名称 (セグメントに該当する会社)	主要な事業の内容
アスモ事業 (株式会社アスモ)	グループ各社の統制・管理、不動産の賃貸
アスモレーディング事業 (株式会社アスモレーディング)	食肉及び食肉加工品の販売
アスモフードサービス事業 (株式会社アスモフードサービス)	高齢者介護施設等における給食の提供
アスモ介護サービス事業 (株式会社アスモ介護サービス)	高齢者介護施設の入居斡旋・訪問介護事業所の展開
OX (H. K.) 事業 (OX (H. K.) COMPANY LIMITED)	香港において、外食店舗の運営
その他 (サーバンストラスト信託株式会社)	信託事業

① アスモレーディング事業

アスモレーディング事業におきましては、穀物価格高騰による飼料価格の上昇や円安の進行による原材料輸入価格の上昇、原油高による運送・保管料等の上昇が依然として続いており、仕入コストが増加しておりましたが、ようやくそれに合わせて販売価格に転嫁させることができるようになりました。

また、販売に関して低価格商品中心の販売が増加し、中でも当初の予算と比較して冷凍ポークの販売が増加したこと、当社の特徴であるメキシコ産商品の供給により他社との差別化を図ることで、安定的な取引を継続することができました。

今後は、メキシコ産商品に加えて米国産牛肉や畜種の取扱いを増やし、合わせて当社独自の視点により日本のマーケットに見合った商品を開発することで、既存顧客の満足度の向上と新規顧客の拡大で販売の増加に努めてまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,005百万円、セグメント利益（営業利益）は、1百万円となりました。

② アスモフードサービス事業

アスモフードサービス事業におきましては、積極的な営業活動により受託施設数が、前連結会計年度末と比較して当第2四半期連結会計期間末現在28施設増加し、265施設（前年同四半期末時点は219施設）となりました。また受託先につきましても、高齢者施設以外で「官公庁の食堂・大学の学食・病院における食事提供」など、様々な業態にお食事の提供を始めさせていただいております。

今後におきましても、より積極的に多くの分野に対して給食の提供を働きかけることで、様々なニーズに対応してまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、3,266百万円、セグメント利益（営業利益）は、93百万円となりました。

③ アスモ介護サービス事業

アスモ介護サービス事業におきましては、高齢者介護施設の入居斡旋業務に加え、前期に当社100%子会社である株式会社アスモ介護サービスを設立し、訪問介護の分野に進出いたしました。

新たに開始しました訪問介護につきましては、事業の開始以来積極的な事業所の開設を進めており、当第2四半期連結会計期間末時点において、31事業所（大阪府内10事業所、埼玉県内6事業所、神奈川県内4事業所、千葉県内3事業所、東京都2事業所、他6事業所）を設置し、ご契約者数は1,332名となっております。

今後におきましても、関東を中心に事業所の営業を開始し、ご契約者数は大幅に増加すると考えております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,731百万円、セグメント利益（営業利益）は、730百万円となりました。

④ OX（H.K.）事業

OX（H.K.）事業におきましては、連結子会社であるOX（H.K.）COMPANY LIMITEDが、香港にて外食店舗を運営しており、当第2四半期連結会計期間において、新規2店舗を出店し香港における当社の存在感を高める事に注力しております。

また本社機能の向上とセントラルキッチン機能の向上を図るべく本社機能を移転させ、売上の構成比率を飲食店収入だけではなく、香港に進出している日系飲食店向けの卸業務収入や香港進出を検討している日系企業へのコンサルティングなど多角的な収益構造を構築してまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、874百万円、セグメント利益（営業利益）は、57百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4,647百万円となり、前連結会計年度末に比べ560百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が197百万円、受取手形及び売掛金が156百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は1,462百万円となり、前連結会計年度末に比べ319百万円減少いたしました。これは主に短期借入金金が406百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は3,184百万円となり、前連結会計年度末に比べ880百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益836百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は63.7%（前連結会計年度末は51.8%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、871百万円となり、前連結会計年度末より197百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、825百万円（前年同四半期は385百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,047百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、228百万円（前年同四半期は55百万円の支出）となりました。これは主に、貸付による支出120百万円、有形固定資産の取得による支出95百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、409百万円（前年同四半期は181百万円の支出）となりました。これは、短期借入金及び長期借入金の返済408百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月13日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成25年11月7日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当社グループは平成25年4月1日付でそれぞれの事業分野における迅速・的確な対応、事業分野に適応した人材の育成・教育・採用、事業分野に特化した判断による業務の効率化、経営責任の明確化、将来を担う経営者の育成を目的として、卸売事業を営む㈱アスモトレーディング、給食事業を営む㈱アスモフードサービスを新設分割の方法により新たに設立したため、連結の範囲に含めておりません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	674,004	871,784
受取手形及び売掛金	1,288,914	1,445,255
商品	266,011	248,569
貯蔵品	11,957	13,120
繰延税金資産	446,616	493,011
その他	73,013	228,767
貸倒引当金	△2,104	△23,606
流動資産合計	2,758,414	3,276,902
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	575,331	634,916
有形固定資産合計	575,331	634,916
無形固定資産		
のれん	572,306	537,084
その他	2,242	3,602
無形固定資産合計	574,549	540,686
投資その他の資産		
その他	513,477	514,000
貸倒引当金	△334,412	△318,878
投資その他の資産合計	179,064	195,122
固定資産合計	1,328,945	1,370,725
資産合計	4,087,359	4,647,627
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	395,497	398,281
短期借入金	406,208	—
未払法人税等	199,427	231,988
賞与引当金	116,047	172,737
返品調整引当金	8,051	6,279
その他	609,026	603,062
流動負債合計	1,734,258	1,412,350
固定負債		
長期借入金	8,974	6,724
退職給付引当金	31,397	34,148
その他	8,089	9,595
固定負債合計	48,461	50,468
負債合計	1,782,720	1,462,818

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,272	2,323,272
資本剰余金	2,374,344	2,374,344
利益剰余金	△2,600,681	△1,763,920
自己株式	△42,303	△42,303
株主資本合計	2,054,631	2,891,393
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	60,830	68,476
その他の包括利益累計額合計	60,830	68,476
少数株主持分	189,176	224,939
純資産合計	2,304,639	3,184,809
負債純資産合計	4,087,359	4,647,627

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	4,486,581	6,909,257
売上原価	3,207,687	4,654,277
売上総利益	1,278,894	2,254,979
返品調整引当金戻入額	10,193	8,051
返品調整引当金繰入額	8,460	6,279
差引売上総利益	1,280,626	2,256,751
販売費及び一般管理費	904,642	1,193,794
営業利益	375,983	1,062,956
営業外収益		
受取利息	82	62
貸倒引当金戻入額	1,195	—
為替差益	—	6,292
償却債権取立益	—	3,622
助成金収入	769	—
その他	1,266	913
営業外収益合計	3,313	10,890
営業外費用		
支払利息	5,783	3,411
為替差損	7,277	—
貸倒引当金繰入額	—	19,576
その他	1,298	792
営業外費用合計	14,360	23,781
経常利益	364,937	1,050,065
特別損失		
固定資産売却損	36	—
賃貸借契約解約損	—	2,453
会員権売却損	804	—
和解金	1,300	—
その他	—	36
特別損失合計	2,141	2,490
税金等調整前四半期純利益	362,795	1,047,575
法人税、住民税及び事業税	37,298	228,111
法人税等調整額	—	△45,714
法人税等合計	37,298	182,397
少数株主損益調整前四半期純利益	325,497	865,177
少数株主利益	20,107	28,416
四半期純利益	305,389	836,761

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	325,497	865,177
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△12,229	14,992
その他の包括利益合計	△12,229	14,992
四半期包括利益	313,267	880,170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	299,152	844,407
少数株主に係る四半期包括利益	14,115	35,762

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	362,795	1,047,575
減価償却費	28,465	43,104
のれん償却額	14,821	35,222
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△1,732	△1,772
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,095	5,967
退職給付引当金の増減額(△は減少)	276	2,751
賞与引当金の増減額(△は減少)	12,709	56,836
受取利息及び受取配当金	△82	△62
支払利息	5,783	3,411
為替差損益(△は益)	7,608	△5,935
有形固定資産売却損益(△は益)	36	—
有形固定資産除却損	—	0
会員権売却損益(△は益)	2,704	—
売上債権の増減額(△は増加)	21,971	△153,454
その他の資産の増減額(△は増加)	4,240	△10,133
たな卸資産の増減額(△は増加)	△66,479	18,654
仕入債務の増減額(△は減少)	12,609	1,685
その他の負債の増減額(△は減少)	47,657	17,072
未払消費税等の増減額(△は減少)	△11,247	37,739
その他	929	—
小計	439,973	1,098,664
利息及び配当金の受取額	82	55
利息の支払額	△12,267	△72,542
法人税等の支払額	△42,349	△200,916
営業活動によるキャッシュ・フロー	385,439	825,260
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△44,641	△95,593
有形固定資産の売却による収入	12	—
無形固定資産の取得による支出	—	△1,730
出資金の回収による収入	—	1
差入保証金の差入による支出	△3,371	△12,416
差入保証金の回収による収入	—	265
会員権の売却による収入	2,195	—
貸付けによる支出	—	△120,000
貸付金の回収による収入	786	515
保険積立金の積立による支出	△10,946	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△55,965	△228,957
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△180,000	△406,208
長期借入金の返済による支出	△1,952	△2,533
リース債務の返済による支出	—	△1,230
財務活動によるキャッシュ・フロー	△181,952	△409,972
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,543	11,449
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	135,978	197,779
現金及び現金同等物の期首残高	666,265	674,004
現金及び現金同等物の四半期末残高	802,243	871,784

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	卸売事業	外食事業	給食事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	871,784	643,046	2,837,439	134,310	4,486,581	—	4,486,581
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,439	—	76	—	1,515	△1,515	—
計	873,224	643,046	2,837,515	134,310	4,488,097	△1,515	4,486,581
セグメント利益	34,238	53,817	352,483	76,264	516,803	△140,819	375,983

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	516,803
セグメント間取引消去	157
のれんの償却額	△12,180
全社費用(注)	△128,743
たな卸資産の調整額	△52
四半期連結損益計算書の営業利益	375,983

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)
	アスモ 事業	アスモトレ ーディング 事業	アスモフ ードサービ ス事業	アスモ介 護サービ ス事業	OX (H. K.) 事業	計	
売上高							
外部顧客への売上高	4,580	1,005,861	3,266,935	1,731,983	874,498	6,883,858	25,398
セグメント間の内部 売上高又は振替高	399,826	13,026	7,273	—	—	420,125	—
計	404,406	1,018,888	3,274,208	1,731,983	874,498	7,303,984	25,398
セグメント利益又は損 失(△)	245,688	1,115	93,673	730,295	57,207	1,127,980	△23,223

(単位：千円)

	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高			
外部顧客への売上高	6,909,257	—	6,909,257
セグメント間の内部 売上高又は振替高	420,125	△420,125	—
計	7,329,382	△420,125	6,909,257
セグメント利益又は損 失(△)	1,104,756	△41,800	1,062,956

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,127,980
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△23,223
セグメント間取引消去	△41,800
四半期連結損益計算書の営業利益	1,062,956

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、平成25年4月1日付の会社分割に伴って、第1四半期連結会計期間より経営管理区分の見直しを行い、従来の「卸売事業」、「給食事業」、「介護事業」及び「外食事業」を「アスモ事業」、「アスモトレーディング事業」、「アスモフードサービス事業」、「アスモ介護サービス事業」及び「OX (H. K.) 事業」に区分し報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、変更後の区分方法により作成した前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、売上高、売上原価と販売費及び一般管理費の金額を遡って正確に抽出することが実務上困難なため、開示を行っておりません。

当第2四半期連結累計期間のセグメント情報を、前第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成した情報は次のとおりであります。

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	卸売事業	外食事業	給食事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,005,861	874,498	3,266,935	1,731,983	6,879,278	29,978	6,909,257
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,026	—	7,273	—	20,299	—	20,299
計	1,018,888	874,498	3,274,208	1,731,983	6,899,577	29,978	6,929,556
セグメント利益又は損 失 (△)	12,812	59,663	424,364	743,394	1,240,235	△18,561	1,221,674

(単位：千円)

	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高		
外部顧客への売上高	—	6,909,257
セグメント間の内部 売上高又は振替高	△20,299	—
計	△20,299	6,909,257
セグメント利益又は損 失 (△)	△158,717	1,062,956

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,240,235
「その他」の区分の利益又は損失 (△)	△18,561
のれんの償却額	△14,821
全社費用 (注)	△143,895
四半期連結損益計算書の営業利益	1,062,956

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。